

■ルーブリック

(1) 「発表会用ルーブリック」(「探究プログラムⅠ」ミニ課題研究(化学分野)発表会、「探究プログラムⅡ」中間報告会、課題研究校内報告会で使用)

評価項目	評価規準			
	4	3	2	1
実験 (観察、調査)	条件の異なる複数の対照実験を行い、それぞれの実験で根拠になりうるデータも概ね得られた。	対照実験として成立しており、根拠になりうるデータも概ね得られた。	対照実験として成立しているが、根拠になりうるデータは十分には得られなかった。	対照実験として不適切であった。
証明	新たに分かったことが明確になっており、その証明が数学的にできていた。	確かな根拠に基づき、新たに分かった傾向を示していた。	新たに分かった傾向を示していた。	新たに分かった傾向が示されていないかった。
	〔理科班:対照実験(対照群と実験群を比べた実験)になっているか、根拠になりうるデータ数があるか、 数学班:証明できているか、傾向が示されているか〕			
考察	先行研究結果や科学的な法則などをもとに科学的・論理的な考察が十分にできていた。	先行研究結果や科学的な法則などをもとに科学的・論理的な考察が概ねできていた。	論理性・多面性に不十分な点が見られるが、自分なりの考察ができていた。	論理性・多面性に不十分な点が目立ち、明確な考察になっていなかった。
	〔客観的な理由(論拠)があるか、考察の流れに問題がないか(結果の正誤は評価に入れない)〕			
データ (表・グラフ)	各要素が漏れなく付けられており、重要な傾向や特徴が明確に示され、簡潔な説明もできていた。	各要素が概ね付けられており、重要な傾向や特徴が明確に示され、簡潔な説明もできていた。	各要素が概ね付けられていたが、重要な傾向や特徴が明確に示されていないかった。	各要素が付いていないものが多いかった。
	〔各要素(タイトル・単位・凡例)があるか、重要な傾向や特徴が明確か〕			
発表 の仕方	(全員が以下を満たしていた)アイコンタクトを保ち、聞きやすい速さや強弱をつけて説明できていた。	(一部の者が以下を満たし、他の者も概ねできていた)アイコンタクトを保ち、聞きやすい速さや強弱をつけて説明できていた。	概ね聞きやすい速さや強弱をつけて説明できていた。	速さや強弱も適当ではない等が目立っていた。
	〔アイコンタクトができているか、速さ・強弱が適切か〕			
質疑 応答	(ほとんどの質問に対し)質問を理解し、客観的な事実に基づいた説明ができていた。	(少なくとも一つの質問に対し)質問を理解し、客観的な事実に基づいた説明ができていた。	(全ての質問に対し)客観的な事実ではなく、自分なりの考えに基づいた説明をしていた。	(ほとんどの質問に対し)質疑応答が停滞したり、自分なりの考えに基づいた説明ができていなかった。
	〔質問を理解できているか、客観的な事実(実験結果や先行研究結果、科学的な法則等)に基づいた説明ができているか〕			